

備忘録

【問い合わせ先】株式会社デンサン

【日時】3月23日 14時00分ごろ

【場所】株式会社デンサン 2階応接室

【出席者】村社、橋元営業部長 橋口取締役

村社→村

村：宮崎青年会議所内向けの DX セミナーを考えているのですが御社でもセミナー等はされているのでしょうか

橋口様：はい、年に100回ほどはDXにまつわるセミナー開催したり必要な場所に講演をしにいたりしております。どことは言えない部分ありますが大きい会社もあれば数人規模の会社もあります。

村：3月10日に宮崎県産業政策課の方をお招きして概論のセミナーをしました。次にすることとしてすべきことは何でしょうか。

橋口様：概論でDXの知識をインプットされたのであれば次はDXの中長期計画を簡単にたててロードマップをするのが良いかと思います。がっちりしたものではなく簡単なものから作ればよいと思いますがそのあたりをセミナーで一緒にするのも良いかと思います。

村：前回のセミナーのアンケート結果から、何を始めたらよいか分からないとかまだ何も取り組んでいないという会社の方が6割を超えていましたがこの部分をからめてお話できることありますか。

橋口様：一番は伴走をつけて一緒に動き出すこと。実は次年度から県でDX相談窓口ができるそうです。この窓口には弊社のスタッフが4人ほど行くことになっております。これとあわせてするのも良いかと思います。

また、DXも種類があって大きく分けて「守りのDX」と「攻めのDX」があります。これは守りはどの会社も共通しているようなこと例えば財務だったり日報だったり顧客管理だったりするものです。攻めはそれぞれの会社の特徴を生かしてアプリやシステムを構築していくやり方です。先ほど村社さんが産業別のDXセミナーをされたいとのことですが、皆さんお話されるのは守りのDXの方ばかりで攻めのほうはあまり積極的にお話されないのではないのでしょうか。基本的に周りにはまねをされたくないのも、当社の顧客からも一切漏らさないでくれとの依頼があるのも事実です。

村：もし可能でしたらデンサン様だったらどのような講演、セミナーを提案されるか提案書をいただけないでしょうか。

橋元様：かしこまりました。週明けにはお渡しできるよう準備します。ちなみにセミナーに

関しては費用は頂いておりませんので宜しくお願ひ致します。